






# 「家族におくる一冊」メッセージコンテスト

## 一般の部 入選作品 5作品(50音順)

 <p>『きみのいたばしょ』 写真・スタジオネーブル 文・池田伸 絵・ココセジュンジ サンクチュアリ出版</p>	<p>木村 とも子さん&lt;非常勤職員；美郷町&gt; &lt;メッセージ&gt; 母は命をかけて子どもを産むのです……。この世に生を受けた命のすべてが、かけがえない命です。思い悩んだとき、この本を開いてください。確かに「君のいた場所」が、そこにあります。母である私も、そこにいます。</p>
 <p>『いいから いいから 4』 長谷川義史 絵本館</p>	<p>黒墨 恵さん&lt;会社員／上北手小図書ボランティアぶっくらぶ&gt; &lt;メッセージ&gt; こんなおじいちゃんがいたら楽しいね。人のことを信じて励まし続けることは、お母さんにもできそうです。うまくいかないことや失敗があっても、前向きに「いいからいいから」って言いたいなあ。おこってばかりだから。</p>
 <p>『くまの子ウーフの絵本 おかあさんおめでとう』 神沢利子・作 井上洋介・絵 ポプラ社</p>	<p>佐藤 陽太さん&lt;秋田大学3年；秋田市&gt; &lt;メッセージ&gt; 素直になれない自分に気付かせてくれたのは、お母さんを想うウーフの純粋な気持ち。2代になった今も感謝の言葉は言えてません。頭でわかっているながら気恥ずかしい私には、この本を渡すことが精一杯です。</p>
 <p>『おこだでませんように』 くすのきしげのり・作 石井聖岳・絵 小学館</p>	<p>多賀糸 智香子さん&lt;主婦；横手市&gt; &lt;メッセージ&gt; 本当は毎日いっぱいほめてあげたいんだよ。でも実際は小学三年生に成長した君を怒ってばかりでごめんね。この本を読むと君との気持ちが繋がって、お互い優しくなれる気がするんだ。大好きな家族だから。</p>
 <p>『世界から猫が消えたなら』 川村元気 マガジンハウス</p>	<p>藤原 美紗子さん&lt;主婦；大館市&gt; &lt;メッセージ&gt; 「何かを得るためには、何かを失わなくてはね」。命や物の大切さ、母の愛が伝わる本です。当たり前前の幸せに気付きました。いつもありがとう。私の気持ちも、この本を通じてパパと子供たちに伝わるといいな。</p>